

学術実践活動

| 授業科目 | 講義題目 | 単位 | 担当教員氏名 | 曜日・講時 | 平成30年度以前入学者 読替先授業科目 |
|--------------|--------------------|----|--------|-------------|------------------------|
| 学術発表実習Ⅰ | 学会等の学術発表による学術実践活動 | 2 | 学務教育室長 | 通年集中 その他 連講 | |
| 学術発表実習Ⅱ | 学会等の学術発表による学術実践活動 | 2 | 学務教育室長 | 通年集中 その他 連講 | |
| 国際活動実習Ⅰ | 国際的学術実践活動 | 2 | 学務教育室長 | 通年集中 その他 連講 | |
| 国際活動実習Ⅱ | 国際的学術実践活動 | 2 | 学務教育室長 | 通年集中 その他 連講 | |
| 研究・教育実践活動実習Ⅰ | 研究・教育関連実務による学術実践活動 | 2 | 学務教育室長 | 通年集中 その他 連講 | |
| 研究・教育実践活動実習Ⅱ | 研究・教育関連実務による学術実践活動 | 2 | 学務教育室長 | 通年集中 その他 連講 | |

科目名：学術発表実習Ⅰ／ Academic Presentation (Practicum)Ⅰ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：通年 単位数：2

担当教員：学務教育室長

コード：LM98840 科目ナンバリング：LAL-OAR522J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：学会等の学術発表による学術実践活動
2. Course Title (授業題目)：Academic practical activities such as presentations at academic conferences
3. 授業の目的と概要：学会等の学術発表による学術実践活動を対象とする。自らの研究をまとめ、発表し、議論を深めることで、研究者・教養ある高度職業人としての力を養う。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course covers academic practical activities such as presentations at academic conferences. In order to cultivate the ability as a researcher or an educated highly skilled professional, students summarize their research, present them, and deepen their discussion.
5. 学習の到達目標：
90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等をおこなう。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will prepare presentation materials and abstracts, practice presentations, and make presentations. It will be required to be more than 90 hours in total.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
指導教員等が90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等を認めた場合に2単位付与する。対象となる学会等は、小規模な研究会ではなく、他学の研究者も多数集まる広範囲の学会とするが、その判断は、本科目の趣旨に照らして指導教員等が行う。
8. 成績評価方法：
指導教員等が実績を勘案して判定する
9. 教科書および参考書：
特になし
10. 授業時間外学習：90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等を必要とする。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：学術発表実習Ⅱ／ Academic Presentation (Practicum)Ⅱ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：通年 単位数：2

担当教員：学務教育室長

コード：LM98841 科目ナンバリング：LAL-OAR523J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：学会等の学術発表による学術実践活動
2. Course Title (授業題目)：Academic practical activities such as presentations at academic conferences
3. 授業の目的と概要：学会等の学術発表による学術実践活動を対象とする。自らの研究をまとめ、発表し、議論を深めることで、研究者・教養ある高度職業人としての力を養う。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course covers academic practical activities such as presentations at academic conferences. In order to cultivate the ability as a researcher or an educated highly skilled professional, students summarize their research, present them, and deepen their discussion.
5. 学習の到達目標：
90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等をおこなう。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will prepare presentation materials and abstracts, practice presentations, and make presentations. It will be required to be more than 90 hours in total.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
指導教員等が90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等を認めた場合に2単位付与する。対象となる学会等は、小規模な研究会ではなく、他学の研究者も多数集まる広範囲の学会とするが、その判断は、本科目の趣旨に照らして指導教員等が行う。
8. 成績評価方法：
指導教員等が実績を勘案して判定する
9. 教科書および参考書：
特になし
10. 授業時間外学習：90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等を必要とする。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
学術発表実習Ⅰの単位取得者を対象とする。これ以上の単位取得は、卒業要件としては認めない。

科目名：国際活動実習 I / International Reserch (Practicum) I

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：通年 単位数：2

担当教員：学務教育室長

コード：LM98842 科目ナンバリング：LAL-OAR524J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：国際的学術実践活動

2. Course Title (授業題目)：International academic practice activities

3. 授業の目的と概要：国際学会での発表、留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動をおこない、研究者・教養ある高度職業人にふさわしい国際性を養う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Students perform international acadedemic practical activities that require communication in foreign languages, such as presentations at international conferences or study abroad, in oder to cultivate the internationality that is necesery for researchers or highly educated skilled professional.

5. 学習の到達目標：

90 時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等による国際学会での発表、1 か月以上の留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動をおこなう。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students perform international acadedemic practical activities that require communication in foreign languages, such as more than 90 hours preparation for presentation materials and abstracts, practice and perform presentations at international conferences, or study abroad for more than a month.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

国際学会での発表、1 か月以上の留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動を対象とする。国際学会での発表については、指導教員等が 90 時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等を認めた場合に 2 単位を付与する。留学については、1 か月以上海外に滞在し、その経験から学んだことを記したリポートの内容を指導教員等が判断して 2 単位を付与する。

8. 成績評価方法：

指導教員等が実績を勘案して判定する

9. 教科書および参考書：

特になし

1 0. 授業時間外学習：90 時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等による国際学会での発表、1 か月以上の留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動をおこなう。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

90 時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等による国際学会での発表、1 か月以上の留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動をおこなう。

科目名：国際活動実習Ⅱ／ International Reserch (Practicum)II

曜日・講時：通年集中 その他 連講

Semester：通年 単位数：2

担当教員：学務教育室長

コード：LM98843 科目ナンバリング：LAL-OAR525J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：国際的学術実践活動

2. Course Title (授業題目)：International academic practice activities

3. 授業の目的と概要：国際学会での発表、留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動をおこない、研究者・教養ある高度職業人にふさわしい国際性を養う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students perform international acadedemic practical activities that require communication in foreign languages, such as presentations at international conferences or study abroad, in oder to cultivate the internationality that is necesery for researchers or highly educated skilled professional.

5. 学習の到達目標：

90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等による国際学会での発表、1か月以上の留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動をおこなう。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students perform international acadedemic practical activities that require communication in foreign languages, such as more than 90 hours preparation for presentation materials and abstracts, practice and perform presentations at international conferences, or study abroad for more than a month.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

国際学会での発表、1か月以上の留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動を対象とする。国際学会での発表については、指導教員等が90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等を認めた場合に2単位を付与する。留学については、1か月以上海外に滞在し、その経験から学んだことを記したレポートの内容を指導教員等が判断して2単位を付与する。

8. 成績評価方法：

指導教員等が実績を勘案して判定する

9. 教科書および参考書：

特になし

10. 授業時間外学習：90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等による国際学会での発表、1か月以上の留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動をおこなう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

90時間以上の発表資料や抄録等の準備・発表の練習・発表等による国際学会での発表、1か月以上の留学等、外国語によるコミュニケーションが必要な国際的学術実践活動をおこなう。

科目名：研究・教育実践活動実習Ⅰ／ Research and Education (Practicum)Ⅰ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

semester：通年 単位数：2

担当教員：学務教育室長

コード：LM98844 科目ナンバリング：LAL-OAR526J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：研究・教育関連実務による学術実践活動
2. Course Title (授業題目)：Academic practical activities such as practice related to research or education
3. 授業の目的と概要：研究・教育関連実務による学術実践活動を対象とする。研究者・教養ある高度職業人として必要となる実務を90時間以上経験する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course covers academic practical activities such as practice related to research or education. In order to cultivate the ability as a researcher or an educated highly skilled professional, students experience practice for over 90 hours.
5. 学習の到達目標：
90時間以上の研究・教育関連実務による学術実践活動をおこなう。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students experience over 90 hours of practical work related to research and education.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
古文書のリスト化・資料の撮影・学術大会の運営支援等，研究者・教養ある高度職業人として必要となる実務を90時間以上経験したことを指導教員等が認めた場合に2単位を付与する。
8. 成績評価方法：
指導教員等が実績を勘案して判定する
9. 教科書および参考書：
特になし。
10. 授業時間外学習：研究・教育関連実務による学術実践活動を90時間以上経験する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：研究・教育実践活動実習Ⅱ／ Research and Education (Practicum)Ⅱ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

Semester：通年 単位数：2

担当教員：学務教育室長

コード：LM98845 科目ナンバリング：LAL-OAR527J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：研究・教育関連実務による学術実践活動
2. Course Title (授業題目)：Academic practical activities such as practice related to research or education
3. 授業の目的と概要：研究・教育関連実務による学術実践活動を対象とする。研究者・教養ある高度職業人として必要となる実務を90時間以上経験する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course covers academic practical activities such as practice related to research or education. In order to cultivate the ability as a researcher or an educated highly skilled professional, students experience practice for over 90 hours.
5. 学習の到達目標：
90時間以上の研究・教育関連実務による学術実践活動をおこなう。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students experience over 90 hours of practical work related to research and education.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
古文書のリスト化・資料の撮影・学術大会の運営支援等，研究者・教養ある高度職業人として必要となる実務を90時間以上経験したことを指導教員等が認めた場合に2単位を付与する。
8. 成績評価方法：
指導教員等が実績を勘案して判定する
9. 教科書および参考書：
特になし。
10. 授業時間外学習：研究・教育関連実務による学術実践活動を90時間以上経験する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
研究・教育実践活動実習Ⅰの単位取得者を対象とする。これ以上の単位取得は、卒業要件としては認めない。